

あなたと遠野が もっと身近な 関係に・・・



クラウドファンディング型 ふるさと納税 のご案内

(Ver. 3.31)

クラウドファンディング型ふるさと納税は、遠野市や遠野市内の事業者が行いたい起業や交流・定住プロジェクトに共感を持った個人からの寄附により、プロジェクトの実施を応援できるしくみです。
プロジェクト外の事業者は、寄附者や市に事業進捗の報告や事業成果を寄附者に還元するしくみです。

● クラウドファンディング型ふるさと納税 導入の背景

国（平成29年10月27日総務省通知）

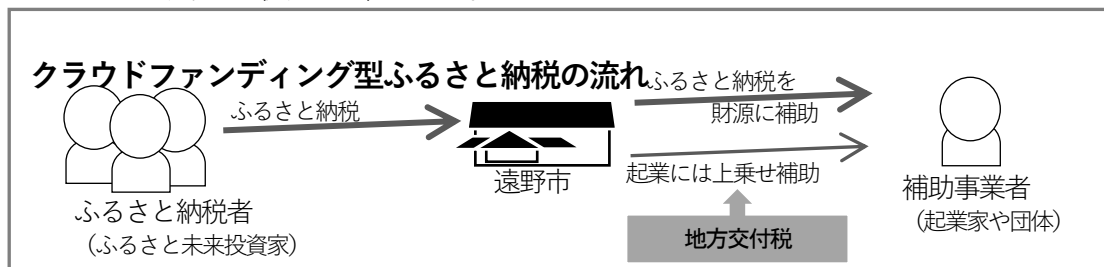
…ふるさと納税を行う方の裾野を拡大し、有効に活用するためには、
活用する**事業の趣旨や内容、成果を明確にする取組**や、
ふるさと納税をした方との**継続的なつながりを持つ取組**を進めることが重要。

(総務省で立ち上げた2つのプロジェクト)

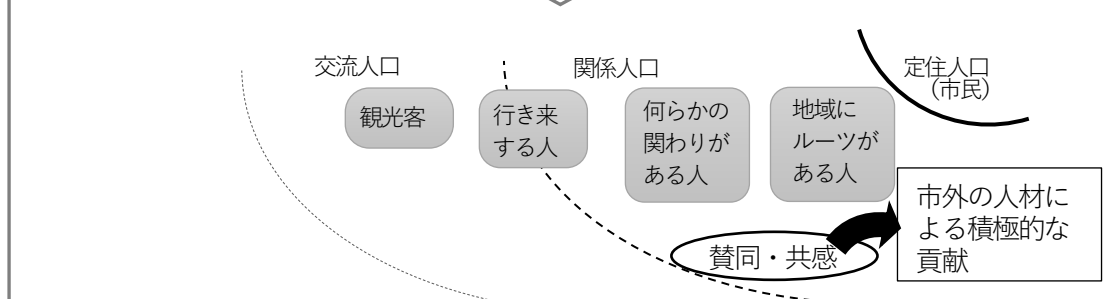
① ふるさと起業家支援プロジェクト

② ふるさと移住交流促進プロジェクト

いずれも、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、地域課題解決を図る事業を立ち上げる起業家や、移住交流の促進に資する事業を行う事業者に対し、ふるさと納税を募り、補助（資金提供）を行う。



関係人口と遠野の地域づくりをつなぐ機能



- ふるさと納税を活用し、地域外から資金調達することにより、地域経済の好循環の拡大と移住交流を推進
- ふるさと納税を活用する事業を具体的に明示して、寄附文化を醸成

● 遠野市の対応

(1) ふるさと納税の意義の再認識

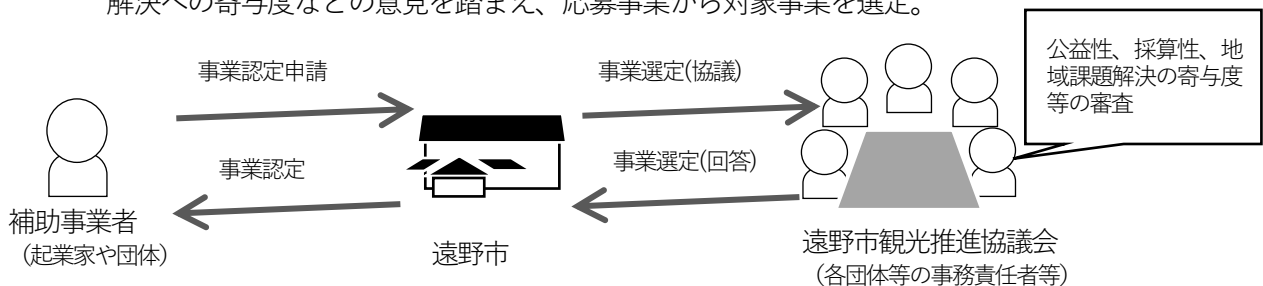
- ①納税者自らが寄附金（税金）の使われ方を考える制度 →納税意識の高まり
- ②応援したい地域の力になれる制度 →地方の環境を育む
- ③自治体がふるさと納税を呼び掛けられる制度 →地方側も地域を考える機会

(2) クラウドファンディング型ふるさと納税の制度施行

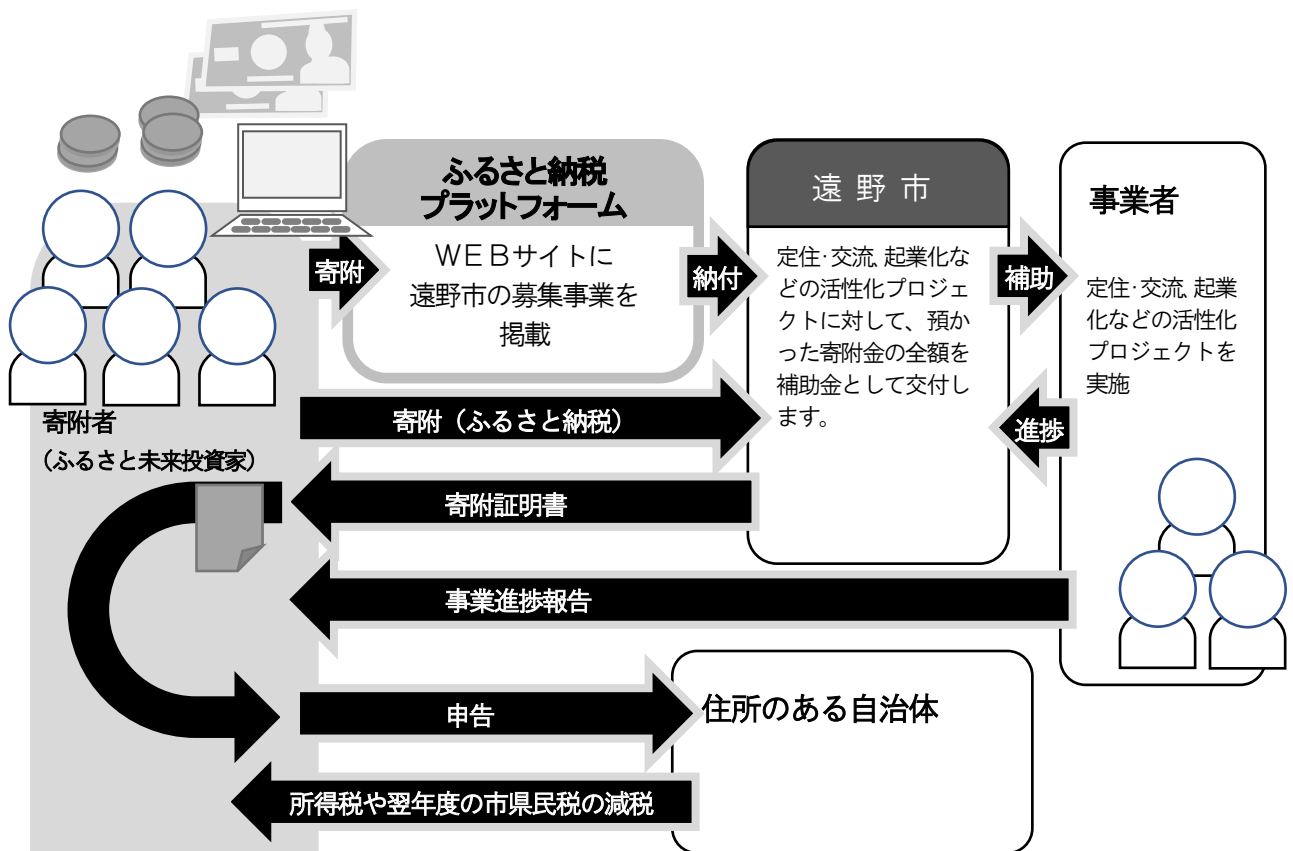
平成 29 年 9 月 26 日付け総務大臣書簡を踏まえ、今後、ふるさと納税の裾野を拡大し、ふるさと納税のさらなる活用を図るため、クラウドファンディング型ふるさと納税の制度を導入。
遠野市ふるさと未来投資支援事業費補助金交付要綱の制定を告示し、制度を施行。

(3) 対象事業の選定

市の審査のほかに、遠野市観光推進協議会や遠野商工会から事業の公益性、採算性、地域の課題解決への寄与度などの意見を踏まえ、応募事業から対象事業を選定。



● 手続きの流れ



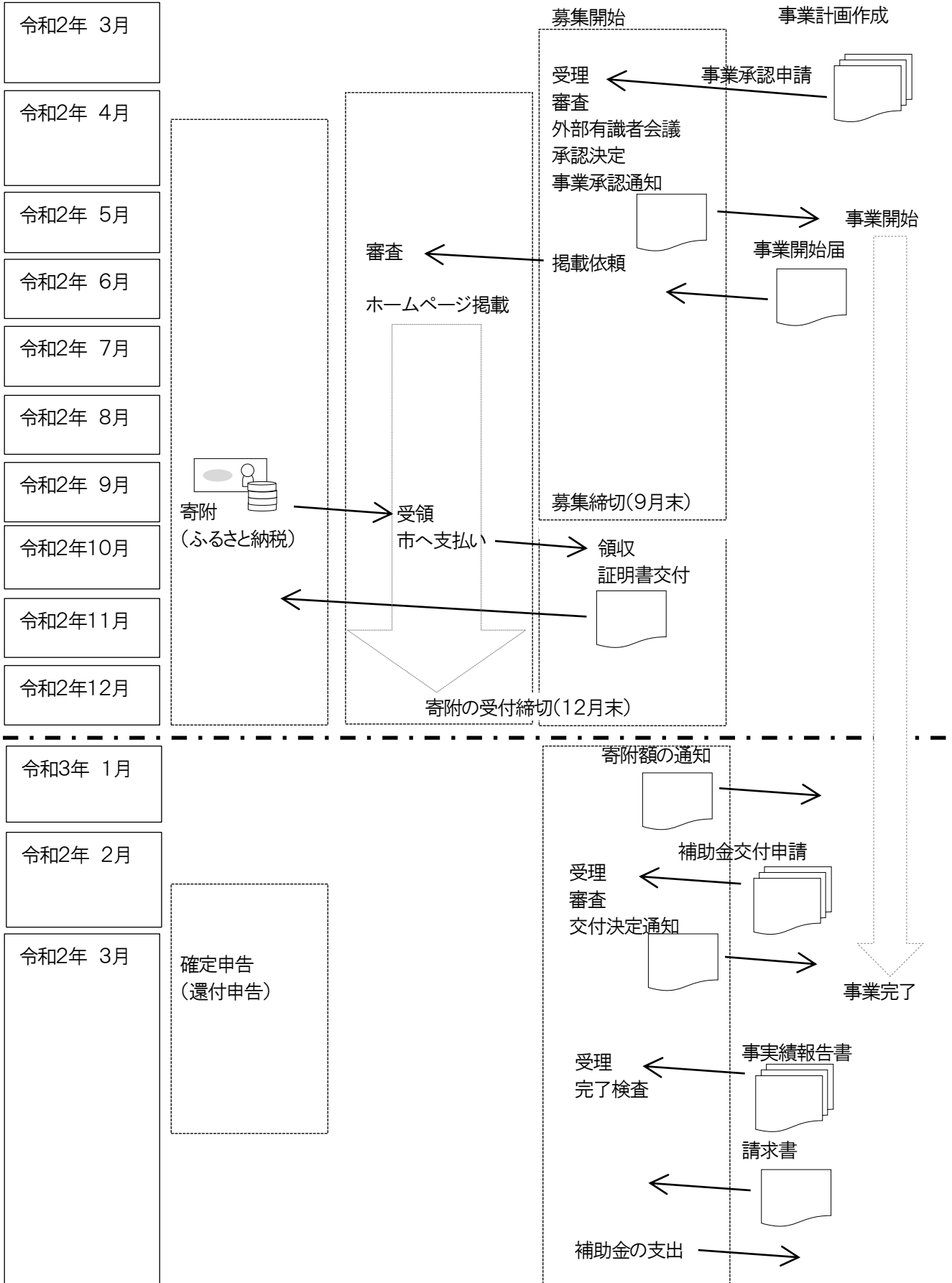
※クラウドファンディング型ふるさと納税の寄附者については、国（総務省）では、ふるさと未来投資家と称しています。

※遠野市クラウドファンディング型ふるさと納税に関しては、事業者が事業進捗報告の一環として事業の成果品を寄附者（ふるさと未来投資家）の方にお送りする場合があります。

※遠野市への寄附金（ふるさと納税）の額による所得税や翌年度の市県民税の減税額については、この資料のほか、国（総務省）のふるさと納税のページなどで確認することができます。

遠野市ふるさと未来投資支援事業費補助金 (クラウドファンディング型ふるさと納税) ふるさと移住交流促進事業 年間スケジュール

寄附者 (ふるさと未来投資家)	ふるさとチョイス (ガバメントクラウドファンディング)	遠野市 (産業部商工労働課)	補助事業者 (事業承認申請者)
--------------------	--------------------------------	-------------------	--------------------



遠野市ふるさと未来投資支援事業費補助金 (クラウドファンディング型ふるさと納税) ふるさと起業家支援事業 年間スケジュール

